

記者発表資料
平成29年7月4日
観光課 観光企画班
担当：佐々木・小野寺
内線：2823

第3期みやぎ観光戦略プランの
平成28年度の実施状況について
(みやぎ観光創造県民条例第12条に基づく報告)



平成29年6月

宮城県経済商工観光部

目 次

1	本報告書について	1
2	観光王国みやぎの実現とみやぎの観光の再生に向けた取組	2
3	「第3期みやぎ観光戦略プラン」の数値目標について	3
4	各数値目標の推移	4
5	平成28年度事業の実施状況	5
	（1）沿岸部の観光資源の再生と積極的な誘客	6
	（2）外国人観光客の回復	9
	（3）LCC就航や仙台空港民営化等を契機とした東北が一体となった広域観光の充実	14
	（4）観光消費効果の高い県外等からの誘客強化	18
	（5）観光資源の魅力の向上と観光客受入態勢の整備拡充	23
6	基本計画の実施状況の検証	30

1 本報告書について

県は、みやぎ観光創造県民条例（平成23年宮城県条例第8号。以下「条例」という。）第12条第1項の規定により、観光振興に関する施策を戦略的かつ積極的に推進し、観光王国みやぎの実現を図るため、条例第11条各号に掲げる基本方針を踏まえ、観光振興に関する基本的な計画を定めるものとしている。また、知事は、毎年度、基本計画の実施状況を検証し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならないこととされている。

この報告書は、条例第12条第3項の規定により、毎年度議会に提出することとされている年次報告である。

参考：みやぎ観光創造県民条例（平成23年宮城県条例第8号）（抜粋）

（施策の基本方針）

第11条 県は、次に掲げる基本方針に基づき、観光振興に関する施策を積極的に推進するものとする。

- （1）魅力あふれる観光地づくり、おもてなしの心の向上等の観光王国みやぎの実現のための取組を、会議の設置等県民総参加による運動として進めること。
- （2）恵まれた自然、歴史、文化、景観、食、温泉その他の観光資源の保全、創造及び活用の取組への支援及び促進を図り、国際競争力及び国内競争力の高い魅力ある観光地の形成を図ること。
- （3）観光に関する施設の整備、道路の整備、交通機能の充実その他の観光に関する社会基盤の整備を促進すること。
- （4）観光事業者への必要な情報提供等の支援、観光事業者相互の連携及び観光事業者と産業観光など地域産業との連携の促進等により観光産業の競争力を強化することで、観光事業者の育成及び経営基盤の強化を図ること。
- （5）観光事業に従事する者等の知識及び能力の向上、観光ボランティア等の育成その他の観光振興に寄与する人材の育成に関する取組を促進すること。
- （6）大学等が観光振興に寄与する人材の育成等のために実施する教育活動へ協力すること。
- （7）外国人観光客の受入環境の整備、市町村、近隣の県等との広域的な連携による取組その他の多様な誘客活動により、東アジアをはじめ海外からの観光客を積極的に誘致し、国際観光の振興及び国際相互交流を促進すること。
- （8）多様な媒体を活用した国内外への戦略的な観光情報の発信その他の情報発信の充実のために必要な施策を実施すること。
- （9）グリーンツーリズムの更なる推進、スポーツツーリズム、コンテンツツーリズム、ヘルスツーリズム、エコツーリズム等の新しい観光分野の開拓、会議、展示会、映画撮影等の誘致及び観光客の受入態勢の整備等の取組を充実すること。
- （10）県民等が主体となって行う食、文化、音楽、芸術等に関するイベント等との連携を図るとともに、これらのイベント等に対する必要な支援を行うこと。
- （11）高齢者、障がい者及び外国人をはじめすべての観光客が安全に、安心して、快適に観光を楽しむことができる態勢の整備を促進すること。
- （12）観光地における生活環境の美化並びに良好な景観の保全及び形成を促進するために必要な支援を行うこと。
- （13）県民総参加による観光振興に取り組む意識を高めるため、観光に関する広報活動、教育活動等を積極的に実施すること。

（基本計画）

第12条 知事は、観光振興に関する施策を戦略的かつ積極的に推進し、観光王国みやぎの実現を図るため、前条に掲げる基本方針を踏まえ、観光振興に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を定めるものとする。

- 2 知事は、基本計画を定めるに当たっては、市町村、県民等の意見が反映されるよう必要な措置を講ずるとともに、宮城県産業振興審議会に諮問するものとする。
- 3 知事は、毎年度、基本計画の実施状況を検証し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 観光王国みやぎの実現とみやぎの観光の再生に向けた取組

県では、平成 26 年度から平成 29 年度までを計画期間とする基本計画「第 3 期みやぎ観光戦略プラン」（平成 26 年 3 月策定）を定め、条例の基本方針を踏まえながら、「地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現」及び「多様な魅力を持つみやぎの観光の再生」のため、5 つの取組の方向性に基づき、幅広く各種施策を実施している。

【緊急的・戦略的な取組】

沿岸部の観光資源の再生と積極的な誘客

→ 防災・減災を目的とした旅行や復興を確認する旅行などの「復興ツーリズム」の推進や観光施設等の再建支援，風評の払拭に向けた正確な観光情報等の発信を実施

外国人観光客の回復

→ 重点市場（中国，韓国，台湾，香港）に加え，東南アジア諸国（タイ，シンガポール，マレーシア等），親日国に対する誘客活動や受入態勢の整備，原発事故等の風評払拭のための正確な観光情報等の発信の実施

LCC就航や仙台空港民営化等を契機とした東北が一体となった広域観光の充実

→ 中部以西での知名度向上や旅行意欲の喚起を図るため，東北各県や関係団体等と連携し，東北一体となった観光資源の魅力の発信などの実施

【継続的な取組】

観光消費効果の高い県外等からの誘客強化

→ 首都圏や中部以西等からの誘客を促進するため，インターネットや新聞などのツールを活用した多様な観光の魅力の発信やプロモーション活動の実施

観光資源の魅力の向上と観光客受入態勢の整備拡充

→ 地域の特性を生かした観光メニューの構築やニーズに応じた観光資源の創出及び地域力のさらなる向上を図るとともに，次世代の観光復興をけん引する人材の育成を実施

【地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現】
【多様な魅力を持つみやぎの観光の再生】

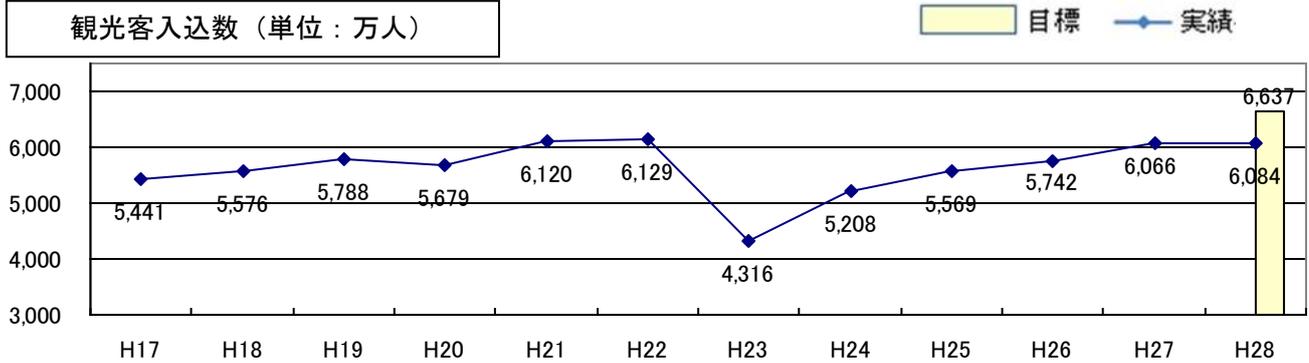
3 「第3期みやぎ観光戦略プラン」の数値目標について

「第3期みやぎ観光戦略プラン」では、東日本大震災前を上回る観光客入込数を目指し、復興関連事業で一時的に増加している宿泊観光客数についても、観光目的での宿泊客や、震災後大きく落ち込んでいる外国人観光客を含めた宿泊観光客を増やすことにより、観光による消費を増やすことを目標として、平成29年における数値目標を設定した。

	第1期プラン (平成19~22年度) 目標(平成22年時)	第2期プラン (平成23~25年度) 目標(震災前の水準に 戻す)	第3期プラン (平成26~29年度) 目標(平成29年時)
① 観光客入込数	6,000万人	6,129万人	6,700万人
② 宿泊観光客数	1,000万人	805万人	900万人
③ 外国人観光客宿泊者数	—	11万人	16万人
④ 観光消費額	6,000億円	5,387億円	6,000億円

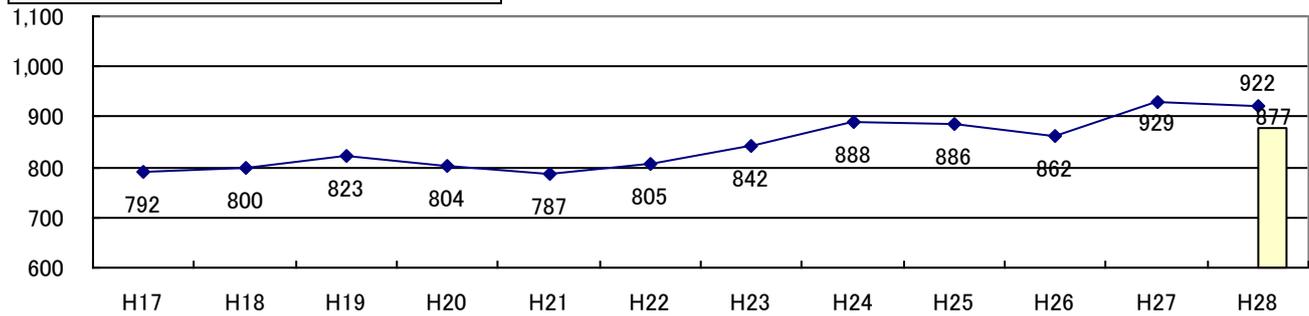
4 各数値目標の推移

観光客入込数（単位：万人）



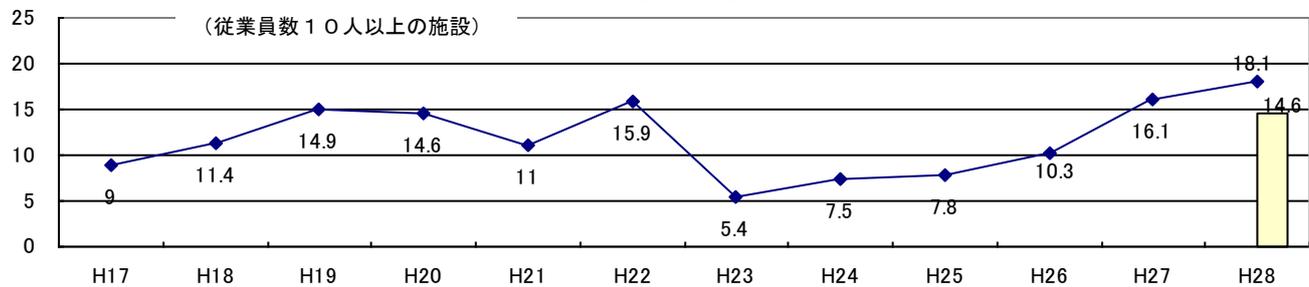
・平成28年の「観光客入込数」は6,084万人で、前年との比較では約100.3%となっており、18万人増加した。また、震災前の平成22年との比較ではほぼ同じ水準まで回復した。

宿泊観光客数（単位：万人）



・平成28年の「宿泊観光客数」は922万人で、震災前の平成22年との比較では115%となり、平成17年以降では昨年に引き続き高い水準になっている。

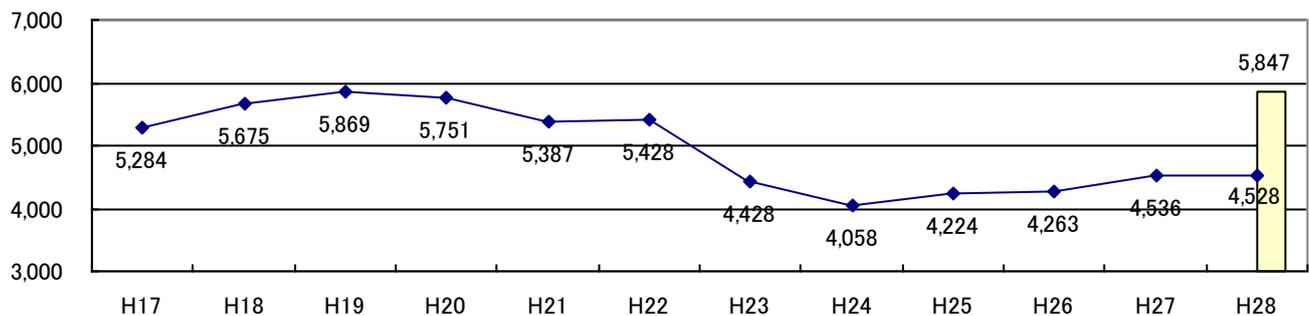
外国人観光客宿泊者数（単位：万人）



※H28の外国人観光客宿泊者数は、観光庁のH28第1～4四半期の調査結果（暫定値）を合計した。

・平成28年の「外国人観光客宿泊者数」は、前年との比較では112.4%となっており、2万人増加した。また、震災前の平成22年を約14%上回り過去最高となった。

観光消費額（単位：億円）



※H24年度観光動態調査報告書の平均消費単価を用いている。

・平成28年の「観光消費額」は4,528億円で、前年との比較では約99.8%となっており、前年と同水準となった。

5 平成 28 年度事業の実施状況

観光は、第 1 次から第 3 次産業までの裾野が広い総合産業であり、経済波及効果や雇用効果の大きい分野であることから、宮城県の地域経済をけん引する大きな役割を担っているとともに、「住んでよし」、「訪れてよし」の魅力ある地域づくりのために極めて重要であると位置づけて、「観光王国みやぎ」の実現を目指して戦略的に観光振興施策を推進している。

東日本大震災からの復旧・復興の 6 年目及び第 3 期みやぎ観光戦略プランの 3 年目となった平成 28 年度は、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の影響を受けて激減した観光客の回復に向けて、甚大な被害を受けた観光施設等の復旧・再生に向けた支援を継続するとともに、観光キャンペーン等を展開して国内外からの観光客の誘致を図るなど、観光の再生・復興に重点的に取り組んだ。

項目	事業	事業数 (再掲含)	事業費計
(1) 沿岸部の観光資源の再生と積極的な誘客		15 事業	
(2) 外国人観光客の回復		34 事業	
(3) LCC 就航や仙台空港民営化等を契機とした東北が一体となった広域観光の充実		18 事業	
(4) 観光消費効果の高い県外等からの誘客強化		29 事業	
(5) 観光資源の魅力の向上と観光客受入態勢の整備拡充		38 事業	
	合計 (再掲含む)	134 事業	26,431,422 千円
	合計 (再掲除く)	96 事業	25,939,534 千円

(1) 沿岸部の観光資源の再生と積極的な誘客

被災地の復興状況を踏まえ、本県でしか体験できない防災・減災を目的とした旅行やボランティア等で支援をいただいた方々が復興を確認する旅行をはじめとする「復興ツーリズム」の推進、観光施設等の再建支援などの受入態勢整備のほか、風評の払拭に向けて正確な観光情報や復興情報の発信の取組を実施したものの。

(単位：千円)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
ポケモンGOと連動した沿岸部観光誘客事業 (観光課)	30,000 (18,096)	人気ゲームアプリ「ポケモンGO」と連動しながら、被災沿岸部の広報宣伝、イベント等を実施する。	・「ポケモンGO」との連携を記念したイベント「Explore Miyagi」を開催し、ゲームを楽しんでもらいながら、被災沿岸部のPRを実施した。 当日の石巻市の観光客：1万人以上
沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業補助金 (観光課)	400,100 (200,544)	沿岸部に集客力の高い宿泊施設や観光集客施設を設置する事業者に対して補助金を交付することにより、宿泊などを伴う消費効果の高い観光客を誘致し、本県沿岸部の活性化を図る。	・モデル宿泊施設設置型は、2件交付決定 ・モデル観光集客施設設置型は、2件交付決定
沿岸部観光復興情報等発信事業 (観光課)	100,000 (92,223)	テレビ、ウェブその他複数のメディアを活用し、首都圏を中心に沿岸部の観光資源や食材・物産、復興の状況等をPRする。	・地上波（関東ローカル）によるテレビ番組の制作・放送 全17回 出演：中村雅俊 放送時間：火曜 22:54～23:00 土曜 18:56～19:00 (本編2分30秒+インフォマーシャル10秒) 平均視聴率：5.0% ・テレビ番組専用ウェブサイトを制作し、上記テレビ番組の各回放送後に更新 ・小学館「サライ」による連載記事掲載 連載回数：6回 ・小学館「サライ」サイトとの連携 「サライ」本誌に掲載した情報をアーカイブとして掲載 ・新聞折込公告による情報発信：1回
「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」設置事業 (観光課)	39,500 (39,000)	「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」を設置して受入態勢を整備するとともに、旅行会社や学校、企業に対して被災地でのボランティアツアーや研修プログラムに関わる情報を提供し、被災地の受入先とマッチングを行う。	【みやぎ観光復興支援センター】 ・被災地に関する情報の収集及び発信、宮城県を訪れたい旅行者と受入先とのマッチング業務を実施した。 ・H28 マッチング実績 41 団体、1,006 人 ・ブログトータルアクセス件数 162,080 件 【みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター】 ・台湾からの教育旅行誘致に向けては、現地プロモーションへ参加し、大学等への招請事業を県とともに実施した。 ・H28 マッチング実績 31 校 2,031 人 (催行日ベース)
観光施設再生・立地支援事業補助金（再生支援型） (観光課)	60,000 (14,148)	震災により被害を受けた観光事業者が行う施設・設備等の復旧に対して、経費の一部を支援する。	・主に旅館・ホテル等宿泊施設に対して交付決定2件

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
観光施設再生・立地支援事業補助金(立地支援型) (観光課)	0 (-)	特に復旧の遅れている沿岸部の小規模宿泊施設の復旧・再建を促進するために、複数の事業者が共同で宿泊施設を設置する際の経費の一部を支援する。	・沿岸部の関係機関(市町役場、観光協会、商工会議所・商工会等)に対し制度の周知を行った。
みやぎエコ・ツーリズム推進事業 (観光課)	7,000 (6,671)	観光地におけるシャトルバス運行事業に対する助成を行う。また、教育旅行のメニューとしてニーズの高い産業観光、自然観光を体験して学ぶエコツーリズムの観光資源の発掘を行うとともに、発掘した観光資源を整理し、メニュー構築を行う。	・観光地でのシャトルバス事業に対する助成については、3事業者に対して助成し、計118便、886名の利用があった。 ・県内受入施設を対象とした情報交換会を開催し、エコツーリズム体験受入に関する課題等の情報共有を行った。 ・県内中学校(89校)及び県外小中学校及び高等学校(54校)に対して学校訪問を行い、エコの視点を取り入れた体験学習のPRを実施した。
新聞・雑誌等の活用による誘客促進事業(観光復興緊急対策事業) (観光課)	5,805 (5,530)	新聞や雑誌等を活用した観光情報の提供やパンフレット等の作成。	・雑誌「歴史人(伊達政宗特集)」への記事掲載や新聞等への広告掲載のほか、観光の復興状況を発信するため、観光パンフレット「極上旅みやぎ」の修正、増刷を行った。
震災復興広報強化事業 (震災復興推進課)	35,000 (34,212)	震災復興に向けた県内各地の取組や復興の様子を収集し、インターネットや紙媒体、パネル展示などにより、県内外に発信することで、支援への感謝を示すとともに震災の風化防止、中長期的な支援意識や復興の気運の維持向上を図る。	・広報紙「NOW I S.」、震災復興ポスター、WEBサイト「みやぎ復興情報ポータルサイト」、「東日本大震災復興情報コーナー」(県庁18階広報展示室内)など、様々な広報媒体を活用し、復興情報の発信を図った。
首都圏復興フォーラム運営事業 (震災復興推進課)	1,500 (1,500)	東日本大震災の風化防止と震災復興に対する全国からの幅広い支援の継続を訴えるため、青森・岩手・福島の被災各県と連携し、被災地の復興状況や復興に向けた取組を首都圏の住民及びマスコミに広く情報提供するフォーラムを開催する。	・東北4県・東日本大震災復興フォーラムの開催。 開催日: H29.3.3 場 所: 東京国際フォーラム(東京都) 参加人数: 約350人
高規格幹線道路、地域高規格道路の整備促進 (道路課)	11,657,590 (24,402,859)	沿岸部の復興に大きく寄与する高規格幹線道路(三陸縦貫自動車道、常磐自動車道)、地域高規格道路(みやぎ県北高速幹線道路)を整備し、産業・観光振興、地域間交流の活性化等を図る。	・高規格幹線道路については、三陸沿岸道路「登米東和IC～南三陸海岸IC」が開通し、「石巻女川IC～桃生豊里IC」が4車線供用した。 ・地域高規格道路については、みやぎ県北高速幹線道路の整備を推進した。
交通安全施設整備事業 (道路課)	151,500 (12,551)	復興まちづくりによる新たな市街地形成に伴いアクセスする道路や主要施設の位置が変更されることから、周辺道路利用者を円滑かつ安全に目的地に交通誘導するため、道路案内標識等の交通安全施設の設備を行う(道路案内標識等の設置計画の策定、交通安全施設、津波避難誘導施設の整備)。	・復興まちづくりと計画との整合を図るため、関係市町村と調整し、新たな市街地等への案内標識の整備を推進した。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
石巻地域交流人口拡大のための周遊観光推進事業 (東部地方振興事務所)	1,600 (386)	石巻地域の主要駅を起点とするモニターツアーを実施し、JRを活用した周遊型観光を推進することにより、石巻地域の交流人口の拡大を図る。 また、県内在住の外国人や学校関係者を対象としたモニターツアーを実施し、石巻地域へのインバウンドや教育旅行の誘致を推進する。	1 女性モニターツアー ・実施日 平成28年11月8日(火) ・対象 仙台圏在住の女性 ・参加者 9名 ・コース(例) 東松島市震災復興伝承館, Café はまぐり堂, スペインタイル 絵付け体験 2 外国人モニターツアー ・実施日 平成29年3月8日(水) ・対象 仙台圏在住の外国人 ・参加者 10名 ・コース(例) 野蒜地区, 日和山公園, 石ノ森萬画館, シーパルピア女川 3 高校生モニターツアー ・実施日 平成29年3月27日(月) ・対象 高校生及び引率教員 ・参加者 11名 ・コース(例) 野蒜地区, 製材工場((株)山大), 南浜つなぐ館(震災伝承施設), 冷凍冷蔵施設「マスカ」
教育旅行誘致促進 (気仙沼地方振興事務所)	747 (225)	北海道から気仙沼・本吉地域に訪れる教育旅行受入数の拡大を図るため、道内の中学校、旅行会社等の教育旅行関係者を対象に、当地域のPRを実施する。	・管内訪問実績校を中心とした163校(道内中学校75校, 全国小学校・高校88校)に対し、気仙沼・本吉圏域教育旅行ガイドブックを送付した。 ・札幌市内および函館市内で開催した教育旅行説明会にて道内の中学校10校, 直接訪問にて函館市内の中学校2校, 計12校に対し、当地域の受け入れ体制等のPRを行った。
スタッフブログ「南三陸&気仙沼を体感!“来て見て浜ライン”」 (気仙沼地方振興事務所)	- (-)	気仙沼・本吉地域の復旧・復興情報や見所、イベント情報などについて、取材を通じて情報収集し、ブログにより情報発信を行う。	更新回数 161回 閲覧数 227,916
事業数 15事業 (再掲含)		事業費計 (決算見込額・再掲含む) 24,827,945千円	

(2) 外国人観光客の回復

主要ターゲットである東アジア市場（台湾、中国、韓国、香港）を中心に、旅行博覧会などでの各種プロモーションや、教育旅行誘致に向けた取組を実施するなど積極的な誘客活動を展開し、併せて他県等と連携したインセンティブツアーの誘致や原発事故等の風評払拭のための正確な観光・復興状況の継続的な情報発信を行うとともに、外国人観光客が過ごしやすい環境整備の促進などに取り組んだ。

(単位：千円)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
インバウンド誘客拡大受入環境整備事業 (観光課・アジアプロモーション課)	91,750 (60,089)	外国人観光客の誘客を強力に推進するため、これまで実施している観光プロモーション等を継続するほか、東京オリンピックの県内開催等を踏まえ、外国人が安心して旅行しやすい環境の整備に積極的に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・松島湾エリアに多言語観光案内表示看板を9箇所設置した。 ・松島“湾”ダーランドをPRする多言語対応観光WEBサイトを構築した。 ・松島湾エリアでサイクリングコースを設定し、それを紹介するガイドブックの作成と、地元住民の意識醸成のためのシンポジウムを開催した。 ・無料Wi-Fiを設置する仙台駅の商業施設や、蔵王エリアの宿泊施設や商業施設等の団体に対する助成を行ったほか、外国人観光客に対するおもてなしや接客英会話を学ぶ研修会を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・無料Wi-Fi 交付決定4件 ・研修会16回 受講者181人
観光集客施設無線LAN設置支援事業補助金 (観光課)	5,000 (4,666)	観光客が利用する県内の宿泊施設や観光集客施設において、無線LANを設置する事業者に対して経費の補助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の宿泊施設や観光集客施設に対し、100万円を補助上限額として事業を実施した。 ・交付決定18件
MICE（国際会議等）の誘致推進事業（コンベンション都市推進事業） (観光課)	2,527 (2,527)	多くの外国人を一時に招致できるMICE（国際会議等）の誘致を積極的に実施し、高い経済波及効果を生み出すため、専門のスタッフを抱え誘致事業に精通した団体への補助を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催経費の一部を支援し、開催誘致を促進した。 (大型会議：26件、国際会議：12件 合計：38件)
海外からの旅行会社・マスコミ等招請による安心・安全情報発信事業 (外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業) (アジアプロモーション課)	21,000 (10,473)	市場規模が大きく、本県重点市場である中国からの誘客について、知名度の高い東京都や北海道と連携した、旅行会社やマスコミ等の招請事業や現地での商談会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・上海・大連での現地商談会及び招請事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・商談会 (上海) 日本側39人、中国側72人 (大連) 日本側29人、中国側57人 ・招請事業 (旅行会社) 5人 (メディア) 2人
海外での旅行博覧会出展や現地旅行会社訪問等によるプロモーション事業(外国人観光客誘致促進事業) (アジアプロモーション課)	19,560 (18,376)	海外からの観光客誘致のため、旅行博覧会への出展や現地旅行会社訪問をはじめ、マスコミ等の招請による観光情報の発信などの多様なプロモーション活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行博（ITF, TTF等）への出展や旅行会社訪問等によるプロモーション活動のほか、平成28年7月には台湾にサポートデスクを開設し正確な観光情報の発信等を行った。また、東北各県のみならず東京都や北海道等広域連携によりマスコミや旅行会社等を本県に招請し、取材や視察を通じて本県への誘客を図った。
インセンティブツアー誘致促進事業 (アジアプロモーション課)	5,000 (5,000)	アジア地域を中心として海外へのインセンティブツアーが増加していることから、このインセンティブツアーを招致するため、東北観光推進機構と連携し、台湾でのプロモーション活動のほか、関係者の招請を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・東北観光推進機構と連携し、台湾で開催された旅行博の機会を通じ、インセンティブツアーの実施の可能性がある台湾企業(日系含む)に対して、本県観光の魅力の発信のほか、旅行会社のインセンティブツアー部門を招請し、本県への誘客を図った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
東北観光推進機構等と連携した広域観光の取組強化 (アジアプロモーション課)	15,000 (15,000)	大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北各県や東北観光推進機構等と連携した取組を行う。	・東北の認知度を向上させ、国内外からの観光客の誘致を推進するため、国内外における観光セミナーの開催や国内外における観光プロモーション等を、一体となって実施した。
航空キャリア提携旅行エージェント誘客促進事業(観光課)	10,000 (9,988)	航空キャリア・提携する旅行会社を招請し、国際線の拡充に向けた誘致に取り組むとともに、広域周遊ルートを柱とした旅行会社による旅行商品の造成を促進する。	・台湾・中国・タイを対象に航空キャリア・提携する旅行エージェントの招請を実施した。 航空会社 9社, 旅行会社 183社
デジタルコンテンツプロモーション事業(観光課)	21,600 (21,600)	広域観光周遊ルートを柱に東北の魅力を映像・画像により情報発信し、認知度の拡大を図るとともに、マーケティングデータを収集・分析することにより活用を図る。	・東北の秋冬の魅力をPRする動画を制作し、動画配信サイトにより情報発信を行った。 秋篇・冬篇ともに閲覧者が860万回を超えた。閲覧情報から効果分析を行いマーケティングデータの構築を図った。
レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業(観光課)	8,300 (8,207)	訪日外国人のレンタカーによるドライブ周遊観光を促進するため、受入環境の整備を行うとともに海外におけるプロモーションを行った。	・多言語によるドライブコースをPRするホームページを制作した。 ・タイや台湾で開催された国際旅行博などにおいて「レンタカー利用パンフレット」を配布しPRを行った。 タイ 国際旅行フェア(TITF) 500枚 台湾 中山駅イベント 500枚
韓国・中国観光客誘致促進支援事業 (アジアプロモーション課)	1,500 (1,500)	韓国及び中国からの観光客誘致のため、(公社)宮城県国際経済振興協会の現地事務所を通じて、効果的な支援を実施する。	・韓国では、風評払拭・観光客誘致のため、旅行博などのイベントに参加し、宮城県の観光PRを実施した。中国では、旅行商品の造成を目的に商談会を実施したほか、本県の観光セミナーを開催し観光PRを実施した。
台湾テレビドラマロケ誘致事業 (アジアプロモーション課)	20,870 (19,721)	岩手県と連携し、台湾で人気の高いテレビドラマロケを誘致することで、本県の知名度向上と台湾からの誘客拡大を図る。	・台湾の地上波テレビ局「民間全民電視股份有限公司(FORMOSA TELEVISION)」の連続テレビドラマ「我的老師叫小賀」(私の先生はフーちゃん)のロケを誘致し、撮影の支援等を行った。 2月下旬から3月上旬にかけて12話分が放映され、平均視聴率は1.51%、同時帯に放送された番組を対象としたランキングでは、ほとんどがトップ10入りとなった。
多言語対応パンフ、ホームページ等整備促進事業(国際観光モデル地区観光施設整備事業) (アジアプロモーション課)	2,640 (2,621)	市町村等と連携し、多言語対応パンフレット、ホームページ等の作成及び案内看板等を整備する。	・宮城県国際観光テーマ地区推進協議会会員市町が作成する多言語対応パンフレットや案内看板等の整備に対する支援を実施したほか、栃木・南東北国際観光テーマ地区観光推進協議会において、タイ向け観光パンフレットを作成した。
海外交流基盤再構築事業 (国際企画課, アジアプロモーション課)	- (-)	震災により大幅に減少した外国人観光客の誘致を図るため、海外政府要人の来県を促すとともに国際会議や訪問団等を積極的に受け入れる。	・海外からの賓客等の受入 27件

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
海外交流基盤強化事業 (国際企画課, アジアプロモーション課)	6,834 (3,374)	中国吉林省, 米デラウェア州, 露ニジェゴロド州等海外自治体等との関係を強化するため, 訪問団の派遣や受入れを行う。併せて, 訪問団への地元経済界の参加を促すことにより, 本県のPR等を効果的に実施し, 企業の販路開拓を下支えする。	・友好省州等海外自治体への職員, 訪問団の派遣 4回 ・友好省州等海外自治体からの職員, 訪問団の受入 1回
みやぎ海外ネットワーク形成事業 (国際企画課)	- (-)	本県にゆかりのある海外在住の外国人や日本に興味を持つ外国人等に向けて, SNSにより宮城の魅力を外国人目線で情報発信を行い, インバウンドを推進する。	・フェイスブック投稿件数 167件 ・インスタグラム投稿件数(H28.7~) 119件
サインの多言語化表記による訪日外国人誘致促進事業 (国際企画課)	20,000 (19,349)	県内の集客施設等におけるサイン(案内表示, 標識等)の多言語化表示を推進することにより, 訪日外国人が安心かつ容易に移動し, 視察や観光資源を楽しみ, また, 良好な地域イメージを抱いていただける環境を醸成し, MICEの誘致活動の円滑な推進及び地域の活性化促進を図る。	宮城県総合運動公園(グランディ・21)内案内表示等の多言語化(英語表記の追加)
留学生を活用したビジネス支援業務 (国際企画課)	3,000 (2,930)	県内在住の留学生の外国人としての視点を, 県内企業による海外向け商品の改良・開発に活用する。また, 留学生を対象にモニターツアーを実施し, 本県に対する愛着を形成してもらうとともにSNS等により情報発信をしてもらうことで外国人観光客の受入拡大を図る。	・県産品試食会の実施(2回) 県内企業18社, 留学生61人参加(延べ) ・モニターツアーの実施(4回) 留学生88人参加(延べ) ※ツアー目的地 ①秋保・作並, ②仙台中心部 ③大崎・鳴子, ④気仙沼・南三陸
海外マスメディア招致事業 (国際企画課)	10,000 (9,162)	海外マスメディアを招致し, 宮城県の観光地を取材してもらうことで本県の知名度向上と外国人観光客の受入拡大を図る。	・海外マスメディア 8名招致(アメリカ及びロシア) ・招致マスメディアからの情報発信 63件
ネイティブスタッフの目線からの英語による情報発信事業 (国際企画課)	5,000 (4,943)	ネイティブスタッフの視点を活かして外国人にとって魅力的な映像や写真をインターネット・SNS上で公開することで, 本県の知名度向上と外国人観光客の受入拡大を図る。	・写真62件作成 ・動画20件作成 ・情報発信数62件
メディアを活用した訪日外国人観光客誘客促進プロモーション事業 (国際企画課)	5,000 (5,000)	県内飲食店を対象とした訪日外国人受入セミナーを実施することで, ウェブサイト等において当該飲食店情報を外国語でも発信する多言語化の推進を図る。	・飲食店向けインバウンドセミナー 8件実施(県内5地域:仙台, 大崎, 仙南, 石巻及び気仙沼) 延べ106名参加
テレビ番組による台湾からの誘客促進事業 (アジアプロモーション課)	10,000 (9,990)	日本, 台湾のテレビ局と共同で, 台湾等からの支援により復興した宮城の魅力をPRするテレビ番組を制作, 放送することで, 本県の知名度向上と台湾からの誘客拡大を図る。	・台湾からの支援に対し, 感謝と復興の様子を伝えるとともに, 台湾のサイクリストをターゲットとしたインバウンドの推進を目的に, ツール・ド・東北を題材としたテレビ番組を作成し, 台湾の地上波テレビにて全国放送を行った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
ハラール対応食普及促進事業 (食産業振興課)	50,000 (16,416)	ムスリムに対応できる飲食店等の施設の増加を図るため、セミナーや試食会の開催、県内事業者への専門家派遣等を行うほか、海外のムスリムに向けた県内のハラール対応レストラン等の情報発信などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・試食体験会&セミナー（3回開催） ・仙台ハラール視察ツアー（1回開催） ・ムスリム試食会（3回開催） ・ムスリムモニターツアー（2回開催） ・事業者向けハンドブック及びレシピ集、飲食店等を紹介するトラベルガイドの作成
仙台空港利用促進事業 (空港臨空地域課)	9,452 (7,598)	仙台空港の路線充実・拡大のため、エアポートセールスを行うほか、航空機を使った旅行需要を喚起するための利用促進事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールスを220件実施した。 ・平成28年度の仙台空港乗降客数は、仙台空港初の国際線LCCとなるタイガーエア台湾の新規就航やエバー航空の増便による「仙台-台北線」の拡充及びアジアナ航空による「仙台-ソウル線」の増便などにより前年度より約5万人増の約316万人となった。
仙台空港地域連携・活性化事業 (空港臨空地域課)	30,000 (21,730)	仙台空港民営化後の、地域にとって望ましい空港運営と周辺地域の活性化に向けて、地域と空港運営権者との連携体制を構築し、関係者が一体となって、空港振興策を展開することにより、空港機能の拡充と旅客・貨物需要の創出を図り、仙台空港を核とした地域経済の活性化を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・民放イベントにPRブースを出展し、仙台空港国際線の周知を図った。 ・若者を対象にパスポート取得費の一部を助成するキャンペーンを実施し、仙台空港国際線を利用した海外旅行の促進を図った。 ・タウン情報誌等のメディアを活用し、仙台空港や就航地の魅力を情報発信し、認知度向上を図った。
空港機能を活用した国外プロモーション活動等事業 (空港臨空地域課)	80,000 (69,907)	空港機能を活用し、北海道新幹線開業に合わせ、函館・仙台双方からの空港からの二次交通を活用した函館・東北広域観光の促進及び宮城が舞台となっているアニメコンテンツや宮城で楽しむスポーツを付加した新たな観光資源の魅力発信やモニターツアーを実施し、外国人観光客の誘致促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・函館・仙台空港からの二次交通案内動画の制作・公開した。 ・函館・仙台空港からの二次交通を活用した東北・函館周遊モニターツアーを実施し、台湾で函館・東北周遊観光の魅力発信イベントを開催した。 ・ゴルフモニターツアー及びアニメモニターツアーを実施した。 ・PRアニメーション動画制作による魅力を発信した。 ・台北アニメイベントでのPR実施やアニメ聖地巡礼イベントを開催した。
仙南地域滞在型ツアー造成事業 (大河原地方振興事務所)	7,000 (6,945)	外国人旅行者の滞在及び宿泊を促進するため、仙南地域における広域的な外国人旅行者向けの観光ルート形成や、ターゲット国に応じた情報発信やツアー商品販売手法等について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生によるワークショップ形式の観光資源調査、モニターツアーの実施（2回） ・ワークショップの成果等を踏まえた滞在型ツアー企画の提案（4コース） ・プロモーション動画、アクセスガイドブック（英語版5万部）の制作
仙南地域広域観光推進プラン作成事業 (大河原地方振興事務所)	4,000 (3,996)	仙南地域の広域観光振興の方向性を定めた「仙南地域広域観光推進プラン」を策定し、国内外からの観光客の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・大河原地方振興事務所及び管内2市7町が策定主体となり、「仙南地域広域観光推進プラン」を策定した。 計画期間：平成29年度～31年度 対象地域：仙南地域2市7町 主な目標値： 仙南地域の外国人宿泊客数 H27 0.9万人泊→H31 4.5万人泊

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
外国人観光客受入環境整備事業(みやぎ蔵王三十六景推進事業) (大河原地方振興事務所)	112 (85)	仙南地域を訪れる外国人観光客への対応の一環として、観光関係者を対象に、具体的な手法を学ぶ「訪日外国人旅行者受入セミナー」を開催する。	【第1回：H28.9.8】 内容：外国人観光客接客対応術 ((株)侍 太見洋介氏) 出席者数：36人 【第2回：H28.9.29】 内容：SNS徹底基礎講座 ((株)侍 齋藤真利男氏) 出席者数：43人 【第3回：H28.10.5】 内容：売上2倍・達成率200%の法則 ((株)侍 太見洋介氏) 出席者数：24人
被災沿岸地域に対する観光促進事業 (仙台地方振興事務所)	2,100 (2,063)	県南浜街道地域(名取市,岩沼市,亘理町,山元町)の魅力が英語及び台湾語で紹介する動画を制作、活用し、外国人観光客の誘客を図る。	・県南浜街道地域の魅力的な観光施設等や震災からの復興の様子を紹介。 ・英語及び台湾語によるナレーションと字幕(各3分程度) ・仙台地方振興事務所ホームページやYouTube等で情報発信
観光客に魅力ある受入体制整備事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)	652 (829)	観光客入込数の増加が期待される栗駒山周辺及び伊豆沼・内沼を中心に、観光客が再び訪れたいと感じる受入体制の整備を図る。また、関係機関等と連携しながら積極的に情報発信を行うとともに、イベントやモニターツアーを通じて誘客を図る。	・花山そば祭りの開催を支援した。 ・関係団体によるワーキングを開催した。 ・誘客のためのクーポンチラシを発行し、1,984名の利用があった。 ・各種イベント及び観光キャンペーンにおいて誘客PRを行った。 ・岩手県、秋田県と連携して作成した「栗駒山トレッキングMAP」を増刷した。(10,000部) ・「訪日外国人観光客受入セミナー」を開催した。(H29.2.24) ・関係機関と連携し、観光資源調査を行った。
アイラブオオサキ動画制作及び4ヶ国語対応 (北部地方振興事務所)	6,200 (6,156)	バーチャルトリップサイト「アイラブオオサキ」を多言語化するとともに、鳴子温泉の魅力がPRする動画を制作し、国内外に発信する。	・バーチャルトリップサイト「アイラブオオサキ」を4ヶ国語化(英語,韓国語,中国語(繁体字),中国語(簡体字)) ・観光PR動画をYouTubeで配信 ・動画に出演したタレントのSNS等で情報を拡散
観光インバウンドセミナー (東部地方振興事務所)	416 (-)	外国人観光客の受入体制の充実を図るため、県国際経済・交流課及び石巻商工会議所等と連携し、インバウンドセミナーを開催した。	・実施日：平成29年2月17日(金) ・場所：県石巻合同庁舎5階大会議室 ・内容：講演「個店でも気軽にできる！コストをかけないインバウンド対策」(講師：浅草つる次郎 店長 浜田圭二氏)及び意見交換会等 ・出席者：管内の飲食・宿泊関係事業者など31名
インバウンド推進研修会 (気仙沼地方振興事務所)	350 (141)	年々増加する訪日外国人観光客の受入環境の整備を図るため、インバウンド推進に向けた研修会を開催する。	・接客英会話フレーズの習得や外国人講師とのロールプレイなどの研修を行った。 開催日：H29.1.25 場 所：気仙沼「海の市」 参加者数：37名(宿泊施設事業者等)
事業数 34事業 (再掲含)		事業費計 (決算見込額・再掲含む) 375,382千円	

(3) LCC就航や仙台空港民営化等を契機とした東北が一体となった広域観光の充実

今後拡大が期待できる国内外からのLCC就航や仙台空港民営化、北陸新幹線や北海道新幹線の開業等を契機として、中部以西での知名度の向上と「東北へ行きたい」という旅行意欲の喚起を図るとともに、東北各県及び東北観光推進機構等の関係諸団体と連携し東北が一体となった観光資源の魅力の発信などに取り組んだ。

(単位：千円)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
航空会社と連携した観光キャンペーン (観光課)	100,000 (87,554)	仙台空港の民営化を契機として、航空機を利用した中部以西からの観光客の誘客強化を図るため、航空会社と連携した航空版の観光キャンペーンを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台空港から直行便が就航している国内線全路線をキャンペーンの対象に設定して、本県の認知度拡大を図るため、ポータルサイト開設やリスティング広告等のWEB活用の他、各就航地域のテレビや新聞、メディアを通じた情報発信を行うとともに、オープニングイベントや観光物産PR等のイベントを実施した。 ・キャンペーン期間中の国内線全路線の搭乗者数が約28,000人増加した。
短期集中型の官民が一体となった仙台・宮城観光キャンペーン推進事業(仙台・宮城観光キャンペーン推進事業) (観光課)	20,000 (20,000)	2年目となる夏の観光キャンペーンは、東日本旅客鉄道株式会社から重点販売地域の指定を受け、同社による大規模な宣伝展開や夏キャンペーン専用商品の販売のほか、北海道新幹線の開業、仙台空港の民営化による鉄道と空路による東北のゲートウェイ機能が向上したことから、北海道道南地域や東北各地域を周遊していただく広域観光を宣伝し、誘客に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブック及びポスターをJR東日本の首都圏における主な駅などに設置・掲出し宣伝した。 ・首都圏のほか、北海道では初となる札幌市や函館市での誘客キャラバンを実施した。また、新規に、レンタカー周遊キャンペーンを実施した。 ・受入態勢整備としては、新規にスクラッチキャンペーンや、東日本高速道路株式会社と東北6県が連携し、東北6県全域を対象地域としたスマートフォン版スタンプラリーを実施した。
仙台空港活用誘客特別対策事業 (観光課)	3,694 (3,159)	仙台空港就航地において、航空会社と連携したプロモーションを行うとともに、雑誌等や新聞広告等を活用した情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・AIRDO…機内誌及び公式ブログへ県内観光情報を掲載し、北海道方面からの誘客拡大に努めた。 ・IBEX…県内観光情報を掲載したパンフレットを作成・機内配架し、観光情報をPRした。
みやぎ路誘客大作戦～秋色満載みやぎ・やまがたの観光～ (観光課)	- (-)	東北自動車道国見サービスエリア等において、臨時観光案内所を設置し、観光情報の発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の観光シーズンを前に、国見SA(下り)において、山形県と臨時観光案内所を共同設置し、観光情報の発信を行った。
航空キャリア提携旅行エージェント誘客促進事業(観光課) 【再掲】	10,000 (9,988)	航空キャリア・提携する旅行会社を招請し、国際線の拡充に向けた誘致に取り組むとともに、広域周遊ルートを柱とした旅行会社による旅行商品の造成を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・台湾・中国・タイを対象に航空キャリア・提携する旅行エージェントの招請を実施した。 航空会社 9社、旅行会社 183社
デジタルコンテンツプロモーション事業(観光課) 【再掲】	21,600 (21,600)	広域観光周遊ルートを柱に東北の魅力を映像・画像により情報発信し、認知度の拡大を図るとともに、マーケティングデータを収集・分析することにより活用を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・東北の秋冬の魅力をPRする動画を制作し、動画配信サイトにより情報発信を行った。 秋篇・冬篇ともに閲覧者が860万回を超えた。閲覧情報から効果分析を行いマーケティングデータの構築を図った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
レンタカーを活用した ドライブ周遊観光促進 事業(観光課) 【再掲】	8,300 (8,207)	訪日外国人のレンタカーによるドライブ周遊観光を促進するため、受入環境の整備を行うとともに海外におけるプロモーションを行った。	・多言語によるドライブコースをPRするホームページを制作した。 ・タイや台湾で開催された国際旅行博などにおいて「レンタカー利用パンフレット」を配布しPRを行った。 タイ 国際旅行フェア(TITF) 500枚 台湾 中山駅イベント 500枚
東北観光推進機構等と 連携した広域観光の取 組強化 (アジアプロモーション課)【再掲】	15,000 (15,000)	大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北観光推進機構等と連携した取組を行う。	・東北の認知度を向上させ、国内外からの観光客の誘致を推進するため、国内における観光セミナーの開催や国内外における観光プロモーション等を、一体となって実施した。
仙台空港600万人・5万 トン実現推進事業 (空港臨空地域課)	22,000 (15,087)	仙台空港の民営化を契機とした宮城・東北の地域活性化に向け、空港運営権者・地元企業・関係機関等との連携を促進するとともに、航空旅客の需要創出などに向けた実証事業等を実施する。	・今後増加が期待されるLCC利用者層に対する効果的な誘客策の実証等を兼ねて、実際にLCCと連携し、LCC利用者層を対象とした観光資源の磨き上げや掘り起こしによる東北の新たなコンテンツの開発とそれを活用した誘客キャンペーンを実施。 特設サイト訪問者数：18,990ユーザー
空港機能を活用した国 外プロモーション活動 等事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	80,000 (69,907)	空港機能を活用し、北海道新幹線開業に合わせ、函館・仙台双方からの空港からの二次交通を活用した函館・東北広域観光の促進及び宮城が舞台となっているアニメコンテンツや宮城で楽しむスポーツを付加した新たな観光資源の魅力発信やモニターツアーを実施し、外国人観光客の誘致促進を図る	・函館・仙台空港からの二次交通案内動画の制作・公開した。 ・函館・仙台空港からの二次交通を活用した東北・函館周遊モニターツアーを実施し、台湾で函館・東北周遊観光の魅力発信イベントを開催した。 ・ゴルフモニターツアー及びアニメモニターツアーを実施した。 ・PR アニメーション動画制作による魅力を発信した。 ・台北アニメイベントでのPR実施やアニメ聖地巡礼イベントを開催した。
仙台空港利用促進事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	9,452 (7,598)	仙台空港の路線充実・拡大のため、エアポートセールスを行うほか、航空機を使った旅行需要を喚起するための利用促進事業を行う。	・知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールスを220件実施した。 ・平成28年度の仙台空港乗降客数は、仙台空港初の国際線LCCとなるタイガーエア台湾の新規就航やエバー航空の増便による「仙台-台北線」の拡充及びアジアナ航空による「仙台-ソウル線」の増便などにより前年度より約5万人増の約316万人となった。
仙台空港地域連携・活 性化事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	30,000 (21,730)	仙台空港民営化後の、地域にとって望ましい空港運営と周辺地域の活性化に向けて、地域と空港運営権者との連携体制を構築し、関係者が一体となって、空港振興策を展開することにより、空港機能の拡充と旅客・貨物需要の創出を図り、仙台空港を核とした地域経済の活性化を促進する。	・民放イベントにPRブースを出展し、仙台空港国際線の周知を図った。 ・若者を対象にパスポート取得費の一部を助成するキャンペーンを実施し、仙台空港国際線を利用した海外旅行の促進を図った。 ・タウン情報誌等のメディアを活用し、仙台空港や就航地の魅力を情報発信し、認知度向上を図った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
県際交流事業 (大河原地方振興事務所)	- (-)	山形県置賜総合支庁及び福島県県北地方振興局と観光パンフレットの相互配置や観光情報の交換を行う。	・パンフレット等の相互配置を行った。 ・JR 仙台駅における誘客キャラバンにおいて、福島県北5市町と合同で観光PRを行った。
仙山交流連携促進事業 (仙台地方振興事務所)	210 (164)	仙山圏（仙台地域・山形県村山地域）の交流を促進するため検討・協議を行うとともに、仙山交流味祭等において両地域の産業、物産のPRを行う。	・仙山圏において、相互のパンフレット配架等を通じた情報発信を実施した。 ・仙山圏の「ヒト」「モノ」「情報」の交流の促進及び地産地消推進のため「仙山交流味祭」を春と秋に実施し、観光PRも行った。
最上・雄勝・大崎連携交流事業 (北部地方振興事務所)	403 (441)	三圏域に関する観光情報の発信(ブログ運営による情報発信, 企業社員研修誘致に向けた情報提供等)及び三圏域合同の観光PRイベントを実施する。	・東北のへそ観光ブログ等による観光情報の発信を行った。 ・仙台圏での合同観光PRイベント「東北の「へそ」三県交流まつり」や道の駅等を活用した観光PRイベントを実施した。 ・企業社員研修誘致に向けた情報提供を行った。
岩手・宮城県際広域観光推進事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所, 東部地方振興事務所登米地域事務所, 気仙沼地方振興事務所)	1,194 (1,148)	岩手県と宮城県の県際地域における広域観光の推進を図る(公式サイトにおけるイベントカレンダーの掲載, 観光案内所におけるパンフレット等の作成, 相互配架)。	○岩手・宮城県際広域観光推進研究会公式サイト「南いわて・北みやぎ観光サイト案内所」における情報発信を行った。 ・イベントカレンダーの掲載 ・観光資源施設情報及び体験メニュー紹介 ・東日本大震災後の観光資源及び宿泊施設の営業状況等調査結果掲載 ○観光案内所等において, 県際広域観光パンフレット「南いわて・北みやぎ県際回遊モデルコースガイド」等の配架を行った。 ○各事務所のイベント等においてパンフレットを相互配架した。 ○県際広域観光パンフレット「南いわて北みやぎドライブマップ」を作成した。(合計50,000部, 各事務所10,000部) ○「南いわて北みやぎ広域観光案内板」の壁面修正を行った。
観光客に魅力ある受入体制整備事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)【再掲】	652 (829)	観光客入込数の増加が期待される栗駒山周辺及び伊豆沼・内沼を中心に, 観光客が再び訪れたいと感じる受入体制の整備を図る。また, 関係機関等と連携しながら積極的に情報発信を行うとともに, イベントやモニターツアーを通じて誘客を図る。	・花山そば祭りの開催を支援した。 ・関係団体によるワーキングを開催した。 ・誘客のためのクーポンチラシを発行し, 1,984名の利用があった。 ・各種イベント及び観光キャンペーンにおいて誘客PRを行った。 ・岩手県, 秋田県と連携して作成した「栗駒山トレッキングMAP」を増刷した。(10,000部) ・「訪日外国人観光客受入セミナー」を開催した。(H29.2.24) ・関係機関と連携し, 観光資源調査を行った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
栗駒山麓の誘客促進事業 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所) 【再掲】	2,100 (2,024)	<p>岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災の影響により落ち込んだ観光客数を回復するため、魅力ある栗原の食や地域資源を活かし、仙台都市圏で発行される情報誌とタイアップし、積極的に情報発信を行う。</p> <p>また、モニターツアーを通じた誘客を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河北ウイークリーせんだいに栗原の旬の見どころ、観光イベント、栗原の食材や料理、伝統のお菓子、それが食べられる店舗等を3回掲載し、仙台圏に栗原の魅力を発信した。 ・栗原の魅力を伝えるモニターツアーを実施した。(3回) ・「くりはらドライブマップ」を増刷した。(5,000部) ・秋田県、岩手県、関連地自体と連携し、「栗駒山麓周遊ガイド」を修正・増刷した。(5,000部)
事業数 18事業 (再掲含)		<p>事業費計 (決算見込額・再掲含む) 284,436千円</p>	

(4) 観光消費効果の高い県外等からの誘客強化

インターネットや新聞、旅行雑誌をはじめとした多様な媒体や訴求力のあるツールを戦略的に活用し、誘客対象を明確にした上で本県の多様な観光の魅力を発信することで訪問意識を呼び起こすとともに、ポストDC等の様々なプロモーション活動に官民一体で取り組み、首都圏や中部以西等からの誘客促進などに取り組んだ。

(単位：千円)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
短期集中型の官民が一体となった仙台・宮城観光キャンペーン推進事業(仙台・宮城観光キャンペーン推進事業) (観光課) 【再掲】	20,000 (20,000)	2年目となる夏の観光キャンペーンは、東日本旅客鉄道株式会社から重点販売地域の指定を受け、同社による大規模な宣伝展開や夏キャンペーン専用商品の販売のほか、北海道新幹線の開業、仙台空港の民営化による鉄路と空路による東北のゲートウェイ機能が向上したことから、北海道道南地域や東北各地域を周遊していただく広域観光を宣伝し、誘客に取り組んだ。	・ガイドブック及びポスターをJR東日本の首都圏における主な駅などに設置・掲出し宣伝した。 ・首都圏のほか、北海道では初となる札幌市や函館市での誘客キャラバンを実施した。また、新規に、レンタカー周遊キャンペーンを実施した。 ・受入態勢整備としては、新規にスクラッチキャンペーンや、東日本高速道路株式会社と東北6県が連携し、東北6県全域を対象地域としたスマートフォン版スタンプラリーを実施した。
「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」設置事業 (観光課)【再掲】	39,500 (39,000)	「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」を設置して受入態勢を整備するとともに、旅行会社や学校、企業に対して被災地でのボランティアツアーや研修プログラムに関わる情報を提供し、被災地の受入先とマッチングを行う。	【みやぎ観光復興支援センター】 ・被災地に関する情報の収集及び発信、宮城県を訪れたい旅行者と受入先とのマッチング業務を実施した。 ・H28 マッチング実績 41 団体、1,006 人 ・ブログトータルアクセス件数 162,080 件 【みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター】 ・台湾からの教育旅行誘致に向けては、現地プロモーションへ参加し、大学等への招請事業を県とともに実施した。 ・H28 マッチング実績 31 校 2,031 人 (催行日ベース)
みやぎエコ・ツーリズム推進事業 (観光課) 【再掲】	7,000 (6,671)	観光地におけるシャトルバス運行事業に対する助成を行う。また、教育旅行のメニューとしてニーズの高い産業観光、自然観光を体験して学ぶエコツーリズムの観光資源の発掘を行うとともに、発掘した観光資源を整理し、メニュー構築を行う。	・観光地でのシャトルバス事業に対する助成については、3 事業者に対して助成し、計 118 便、886 名の利用があった。 ・県内受入施設を対象とした情報交換会を開催し、エコツーリズム体験受入に関する課題等の情報共有を行った。 ・県内中学校(89 校)及び県外小中学校及び高等学校(54 校)に対して学校訪問を行い、エコの視点を取り入れた体験学習のPRを実施した。
ICT等を活用した観光情報提供事業(ICT観光情報提供事業) (観光課)	- (-)	本県の「みどころ」「イベント」「風景」など様々な観光情報をICT環境で提供し、ツイッターやフェイスブックなどのSNS環境での提供についても拡充して行う。	・宮城県観光連盟のホームページにおいて、県内各地の観光情報を積極的に発信しているほか、フェイスブックも開設しており、情報提供の拡充を図った。 「いいね」5,418件(6/8現在)
新聞・雑誌等の活用による誘客促進事業(観光復興緊急対策事業) (観光課) 【再掲】	5,805 (5,530)	新聞や雑誌等を活用した観光情報の提供やパンフレット等の作成。	・雑誌「歴史人(伊達政宗特集)」への記事掲載や新聞等への広告掲載のほか、観光の復興状況を発信するため、観光パンフレット「極上旅みやぎ」の修正、増刷を行った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
フィルムコミッション 推進事業 (観光課)	2,265 (2,265)	テレビ、映画等の映像媒体によりシティーセールスを行い、宮城県の知名度向上を図るため、テレビ番組、映画、コマーシャル等のロケーション撮影及び誘致の取組を支援する。	・せんだい・宮城フィルムコミッションの所属団体として、映画、テレビ番組、コマーシャル等のロケーション撮影の支援及び誘致の取組に対して支援を行った。 (支援件数 165 件 撮影実績 75 件)
風評被害等観光客実態 調査事業 (観光課)	6,500 (4,050)	原発事故の風評被害に苦しむ、県内観光事業者の支援や観光施策の展開を検討する上で必要な現状把握を行う。	・「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠した調査項目に基づく観光地点パラメータ調査や首都圏、関西圏の在住者及び県内の観光事業者に対し、震災や風評被害に関するアンケート調査を実施した。
J R 東日本等と連携した イメージアップ推進 事業(みやぎ観光復興 イメージアップ事業) (観光課)	3,000 (3,000)	震災後大きく減少した本県の観光客入込数であるが、平成27年には平成22年比で99%まで回復した。しかしながら、石巻圏域・気仙沼圏域は平成22年比66%と回復状況が大きく遅れている。このため、J R 東日本等と連携し、首都圏において観光PRを実施した。	・J R 東日本の首都圏10駅のほか、札幌駅及び函館駅で誘客キャラバンを実施した。 ・丸の内ビルディングで開催された「丸の内東北応援フェア『マル・デ・ミヤギ』」において、観光PRを実施した。
沿岸部観光復興情報等 発信事業 (観光課) 【再掲】	100,000 (92,223)	テレビ、ウェブその他複数のメディアを活用し、首都圏を中心に沿岸部の観光資源や食材・物産、復興の状況等をPRする。	・地上波(関東ローカル)によるテレビ番組の制作・放送 全17回 出演：中村雅俊 放送時間：火曜 22:54~23:00 土曜 18:56~19:00 (本編2分30秒+インフォマーシャル10秒) 平均視聴率：5.0% ・テレビ番組専用ウェブサイトを作成し、上記テレビ番組の各回放送後に更新 ・小学館「サライ」による連載記事掲載 連載回数：6回 ・小学館「サライ」サイトとの連携 「サライ」本誌に掲載した情報をアーカイブとして掲載 ・新聞折込公告による情報発信：1回
教育旅行誘致促進事業 (観光課)	4,277 (3,437)	北海道からの教育旅行の誘致及び東北観光推進機構と連携した首都圏等からの教育旅行の誘致を行うとともに、教育旅行の誘致拡大を目指し、北海道及び中部以西の学校関係者や旅行会社の関係者を招請する。	・仙台市等と連携し、札幌・函館で学校関係者や旅行会社に対する説明会及び商談会を実施した。 ・東北観光推進機構が実施する、教育旅行セミナー(東京・福岡)に参加し、本県への教育旅行の誘致を図った。 ・J R 北海道が主催した北海道新幹線を使用した東北への修学旅行説明会に参加し、中学校教員及び旅行会社に対して提案を行った。 ・北海道、九州の学校関係者を招請(8月と2月)し、誘致拡大を図った。
みやぎ路誘客大作戦～ 秋色満載みやぎ・やま がたの観光～ (観光課) 【再掲】	- (-)	東北自動車道国見サービスエリア等において、臨時観光案内所を設置し、観光情報の発信を行う。	・秋の観光シーズンを前に、国見SA(下り)において、山形県と臨時観光案内所を共同設置し、観光情報の発信を行った。
東北観光推進機構等と 連携した広域観光の取 組強化 (アジアプロモーション 課) 【再掲】	15,000 (15,000)	大都市圏や海外から東北への誘客を図るため、東北観光推進機構等と連携した取組を行う。	・東北の認知度を向上させ、国内外からの観光客の誘致を推進するため、国内における観光セミナーの開催や国内外における観光プロモーション等を、一体となって実施した。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
県外向け広報事業 (広報課)	24,695 (24,545)	テレビ番組を製作・放送し、全国に向けて、宮城の観光資源や食材・物産、復興の状況等をPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・BS テレビによる広報番組の制作・放送を行った。 放送局：BS-TBS 放送時間：毎週月曜 19:54～20:00 放送回数：51回（うち再放送13回） 平均推定視聴世帯数：35.8万世帯 ※参考 平成28年度BS視聴可能世帯数：4,045万世帯
大規模大会誘致支援事業 (オリンピック・パラリンピック大会推進室)	- (-)	国際大会や全国規模のスポーツ大会を誘致するために、広報活動等を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツール・ド・東北2016 開催日：H28.9.17(土)～18(日) 場 所：石巻市～気仙沼市 参加者：約3,700人 ・クイーンズ駅伝 in 宮城 開催日：H28.11.27(日) 場 所：松島町～仙台市 観客数：約23万人
首都圏県産品販売等拠点運営事業 (食産業振興課)	161,123 (160,178)	首都圏アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」の管理・運営を通じて、県産品の紹介・販路拡張及び観光情報コーナーにおける本県観光の魅力の発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県産品の販売に加え、リニューアルオープンを実施し、アンテナ機能の一層の発揮に向け取り組んだ。 年間売上額：500,051千円 年間買上客数：414,598人 観光情報コーナー利用状況：22,605人
地域イメージ確立推進事業 (食産業振興課)	2,945 (2,637)	「食材王国みやぎ」をテーマに、知事等のトップセールスやウェブサイトを活用し、宮城の「食」を全国に強力に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・知事等のトップセールスによる「食材王国みやぎ」のPRを積極的に展開した。 ・県産食材の認知度向上のため、ウェブサイト「食材王国みやぎ」において、旬の食材やメニューレシピ、食に関するイベント情報など食関連情報を総合的に全国へ発信した。 アクセス件数 39万件（前年度10%減）
物産展等開催事業 (食産業振興課)	11,278 (11,235)	全国主要都市の百貨店において物産展を開催し、県産品の展示販売と観光情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全国5カ所において、「宮城県の物産と観光展」を開催した（そごう横浜展、東急東横展、そごう広島展、名古屋名鉄展、そごう千葉展）。 売上額：270,206千円 出展者数：延べ235社（うち新規44社）
仙台空港利用促進事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	9,452 (7,598)	仙台空港の路線充実・拡大のため、エアポートセールスを行うほか、航空機を使った旅行需要を喚起するための利用促進事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・知事及び副知事によるトップセールスを含めたエアポートセールスを220件実施した。 ・平成28年度の仙台空港乗降客数は、仙台空港初の国際線LCCとなるタイガーエア台湾の新規就航やエバー航空の増便による「仙台-台北線」の拡充及びアジアナ航空による「仙台-ソウル線」の増便などにより前年度より約5万人増の約316万人となった。
「宮城県東京事務所メールマガジン」発行事業 (東京事務所)	- (-)	宮城をより一層知っていただき、身近に感じていただけるよう、首都圏で行われる観光及び物産イベントや復興情報を発信する（「宮城県東京事務所メールマガジン」の発行）。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回発行し、「宮城ふるさとプラザ」の店内イベント及び首都圏の百貨店での物産フェア、首都圏で行われる観光及び物産イベント情報、復興情報について発信した。（平成28年度：12回）

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
(首都圏の) イベント等での観光・復興PR事業 (東京事務所)	- (-)	首都圏でのイベントにおいて、観光パンフレット等の配布や復興をPRするパネルの展示を行い、来場者への情報提供を行う。	・首都圏の企業等主催の復興支援イベント等において、観光パンフレットの配布や復興に関するパネルの展示等を行い、情報提供や観光PRを行った。 (平成28年度：延べ99日)
県際交流事業 (大河原地方振興事務所)【再掲】	- (-)	山形県置賜総合支庁及び福島県県北地方振興局と観光パンフレットの相互配置や観光情報の交換を行う。	・パンフレット等の相互配置を行った。 ・JR 仙台駅における誘客キャラバンにおいて、福島県北5市町と合同で観光PRを行った。
仙山交流連携促進事業 (仙台地方振興事務所)【再掲】	210 (164)	仙山圏(仙台地域・山形県村山地域)の交流を促進するため検討・協議を行うとともに、仙山交流味祭等において両地域の産業、物産のPRを行う。	・仙山圏において、相互のパンフレット配架等を通じた情報発信を実施した。 ・仙山圏の「ヒト」「モノ」「情報」の交流の促進及び地産地消推進のため「仙山交流味祭」を春と秋に実施し、観光PRも行った。
最上・雄勝・大崎連携交流事業 (北部地方振興事務所)【再掲】	403 (441)	三圏域に関する観光情報の発信(ブログ運営による情報発信、企業社員研修誘致に向けた情報提供等)及び三圏域合同の観光PRイベントを実施する。	・東北のへそ観光ブログ等による観光情報の発信を行った。 ・仙台圏での合同観光PRイベント「東北の「へそ」三県交流まつり」や道の駅等を活用した観光PRイベントを実施した。 ・企業社員研修誘致に向けた情報提供を行った。
観光客に魅力ある受入体制整備事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)【再掲】	652 (829)	観光客入込数の増加が期待される栗駒山周辺及び伊豆沼・内沼を中心に、観光客が再び訪れたいと感じる受入体制の整備を図る。また、関係機関等と連携しながら積極的に情報発信を行うとともに、イベントやモニターツアーを通じて誘客を図る。	・花山そば祭りの開催を支援した。 ・関係団体によるワーキングを開催した。 ・誘客のためのクーポンチラシを発行し、1,984名の利用があった。 ・各種イベント及び観光キャンペーンにおいて誘客PRを行った。 ・岩手県、秋田県と連携して作成した「栗駒山トレッキングMAP」を増刷した。(10,000部) ・「訪日外国人観光客受入セミナー」を開催した。(H29.2.24) ・関係機関と連携し、観光資源調査を行った。
栗駒山麓の誘客促進事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)【再掲】	2,100 (2,024)	岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災の影響により落ち込んだ観光客数を回復するため、魅力ある栗原の食や地域資源を活かし、仙台都市圏で発行される情報誌とタイアップし、積極的に情報発信を行う。 また、モニターツアーを通じた誘客を図る。	・河北ウイークリーせんだいに栗原の旬の見どころ、観光イベント、栗原の食材や料理、伝統のお菓子、それが食べられる店舗等を3回掲載し、仙台圏に栗原の魅力を発信した。 ・栗原の魅力を伝えるモニターツアーを実施した。(3回) ・「くりはらドライブマップ」を増刷した。(5,000部) ・秋田県、岩手県、関連地自体と連携し、「栗駒山麓周遊ガイド」を修正・増刷した。(5,000部)
登米観光戦略実践事業 (東部地方振興事務所登米地域事務所)	1,691 (1,632)	県観光キャンペーンへの対応を通じたおもてなし意識の醸成、情報発信、県内外イベント等における登米の観光及び特産品のPRを行う。	・観光施設関係者等を対象としたセミナーを開催した。 ・観光キャラバンを実施した。 ・登米エリアドライブマップを改訂増刷した。 ・県内外イベントにおいて、登米の観光や特産品をPRした。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
次代につなぐ登米観光 戦略実践事業 (東部地方振興事務所 登米地域事務所)	2,100 (2,085)	「次代につなぐ登米観光戦略プラン」を推進するため、ワーキングチームの設置、フォト・ムービーコンテストやキックオフツアー開催による情報発信、観光ボランティアガイド研修などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・次代につなぐ登米観光戦略ワーキングチームを開催した。 ・SNSを活用したフォト・ムービーコンテストを開催した。 ・「食と農」「子ども」「女性」「隣接地域連携」の視点でキックオフツアーを開催した。 ・観光ボランティアガイド研修を開催した。
教育旅行誘致促進 (気仙沼地方振興事務所) 【再掲】	747 (225)	北海道から気仙沼・本吉地域に訪れる教育旅行受入数の拡大を図るため、道内の中学校、旅行会社等の教育旅行関係者を対象に、当地域のPRを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管内訪問実績校を中心とした163校(道内中学校75校、全国小学校・高校88校)に対し、気仙沼・本吉圏域教育旅行ガイドブックを送付した。 ・札幌市内および函館市内で開催した教育旅行説明会にて道内の中学校10校、直接訪問にて函館市内の中学校2校、計12校に対し、当地域の受け入れ体制等のPRを行った。
岩手・宮城県際広域観光 推進事業 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所、東部 地方振興事務所登米地 域事務所、気仙沼地方 振興事務所)【再掲】	1,194 (1,148)	岩手県と宮城県の県際地域における広域観光の推進を図る(公式サイトにおけるイベントカレンダーの掲載、観光案内所におけるパンフレット等の作成、相互配架)。	<ul style="list-style-type: none"> ○岩手・宮城県際広域観光推進研究会公式サイト「南いわて・北みやぎ観光サイト案内所」における情報発信を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントカレンダーの掲載 ・観光資源施設情報及び体験メニュー紹介 ・東日本大震災後の観光資源及び宿泊施設の営業状況等調査結果掲載 ○観光案内所等において、県際広域観光パンフレット「南いわて・北みやぎ県際回遊モデルコースガイド」等の配架を行った。 ○各事務所のイベント等においてパンフレットを相互配架した。 ○県際広域観光パンフレット「南いわて北みやぎドライブマップ」を作成した。(合計50,000部、各事務所10,000部) ○「南いわて北みやぎ広域観光案内板」の壁面修正を行った。
事業数 29事業 (再掲含)		事業費計 (決算見込額・再掲含む) 405,917千円	

(5) 観光資源の魅力の向上と観光客受入態勢の整備拡充

本県の誇る「食」・「温泉」・「自然」・「歴史・文化」・「産業」・「祭」・「プロスポーツ」などの地域の特性を生かしたテーマ性・ストーリー性のある観光メニューの構築やニーズに応じた観光資源を創出するとともに、観光客を迎える立場にある県民による域内流動を促進し地域の魅力に対する理解の向上に取り組んだ。

また、観光客へ快適な旅行を提供するため、DCで培った地域力のさらなる向上、おもてなしを浸透させるとともに、次世代の観光の復興をけん引する人材の育成に取り組んだ。

(単位：千円)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
魅力あふれる松島湾観光創生事業 (観光課)	10,000 (9,741)	県内有数の観光地である松島湾エリアをモデル地域として、エリアの魅力を最大限に引き出すために集中的に事業を推進し、多くの観光客に訪れていただける観光地づくりを目指す。	・広域観光に向けた松島湾エリアの人材を育成するため「次世代観光人材育成塾」を開催した。 ・3市3町が連携した松島“湾”ダーランドPRイベントを実施した。
みやぎ観光戦略受入基盤整備事業 (観光課)	249,300 (162,627)	高齢者、子供連れの人、外国人等、あらゆる観光客の安全な利用に配慮した自然公園施設の再整備や、観光客が広域的に移動しやすい環境整備のため、観光案内板等を整備する。	・栗駒地域の世界谷地（第一湿原）（第二湿原）の園地整備及び蔵王レストハウス改修の設計等を行っている。 ・広域観光案内板の表示（道路情報・写真等）の修正を行った。 ・ミニ観光案内所の誘導看板の貼替を行った。
みやぎエコ・ツーリズム推進事業 (観光課) 【再掲】	7,000 (6,671)	観光地におけるシャトルバス運行事業に対する助成を行う。また、教育旅行のメニューとしてニーズの高い産業観光、自然観光を体験して学ぶエコツーリズムの観光資源の発掘を行うとともに、発掘した観光資源を整理し、メニュー構築を行う。	・観光地でのシャトルバス事業に対する助成については、3事業者に対して助成し、計118便、886名の利用があった。 ・県内受入施設を対象とした情報交換会を開催し、エコツーリズム体験受入に関する課題等の情報共有を行った。 ・県内中学校（89校）及び県外小中学校及び高等学校（54校）に対して学校訪問を行い、エコの視点を取り入れた体験学習のPRを実施した。
観光王国みやぎおもてなし大賞 (観光課)	190 (205)	観光王国みやぎの実現に関し、観光客に対して優良なおもてなしの取組があったと認められる県民等（観光施設、宿泊施設、物産業者、交通機関、旅行者、地域団体等）に対し表彰を行う。	表彰式：平成29年2月10日 大賞：1件、奨励賞：4件、選考委員特別賞：2件
「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」設置事業 (観光課)【再掲】	39,500 (39,000)	「みやぎ観光復興支援センター」及び「みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター」を設置して受入態勢を整備するとともに、旅行会社や学校、企業に対して被災地でのボランティアツアーや研修プログラムに関わる情報を提供し、被災地の受入先とマッチングを行う。	【みやぎ観光復興支援センター】 ・被災地に関する情報の収集及び発信、宮城県を訪れたい旅行者と受入先とのマッチング業務を実施した。 ・H28 マッチング実績 41 団体、1,006 人 ・プロジェクトアクセス件数 162,080 件 【みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター】 ・台湾からの教育旅行誘致に向けては、現地プロモーションへ参加し、大学等への招請事業を県とともに実施した。 ・H28 マッチング実績 31 校、2,031 人 (催行日ベース)
宮城県観光連盟負担金事業 (観光課)	25,840 (25,840)	県内の観光の観光資源の紹介宣伝、観光客の誘致等を目的とする宮城県観光連盟の会員として官民一体となった事業展開を通じて、観光振興を図った。	・企画調査事業、情報収集・発信事業、観光客誘致対策事業、観光開発・啓発・犬種事業など幅広い事業を実施した。 ・特に H28 年度新規事業としてインバウンドバスツアーへの支援を行った。 ・交付実績 11 件・1,050 千円

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
民宿、民泊を伴う農漁村体験メニュー拡充事業 (観光課)	- (-)	教育旅行の誘致推進を図るため、そのニーズにあわせた民宿、民泊を伴う農漁村体験や産業観光の実施地域の拡充や体験メニューの増加を支援する。	・教育旅行ガイドブックの改訂に合わせ、各学校からのニーズが高い体験メニューの拡充を図るため、意見交換を実施し、積極的な支援を行った。 ・教育旅行ガイドブックWEB版を公開し、宿泊施設一覧のページにおいて民宿や農林漁家民泊情報の掲載を行った。
スポーツツーリズムの推進 (観光課)	- (-)	民間等が主体的に開催するマラソンやサイクリング、トレッキングなどの参加型スポーツイベントの開催を支援するとともに、イベント参加者に対する観光情報の提供等による誘客を図る。 また、Jリーグやプロ野球、プロバスケットボールなど多くのプロスポーツを観戦する環境に恵まれた本県の特徴を生かして、全国から訪れる観戦客に対する本県の観光PRや観戦客向けの旅行商品の造成を促進することなどにより、新たな旅行需要を開拓する。	・マラソンや駅伝等、スポーツイベント開催時に観光案内所を設置し、参加者等に対し、観光情報の提供を行った。
松島公園津波防災緑地整備事業 (観光課)	134,600 (140,210)	県を代表する観光地である松島公園について、津波等に対する防災力を強化するとともに、観光地にふさわしい景観にも配慮した整備を行う。	・第1・2・3・5駐車場の造成及び中央広場の工事に着手した。
みやぎ路誘客大作戦～秋色満載みやぎ・やまがたの観光～ (観光課) 【再掲】	- (-)	東北自動車道国見サービスエリア等において、臨時観光案内所を設置し、観光情報の発信を行う。	・秋の観光シーズンを前に、国見SA(下り)において、山形県と臨時観光案内所を共同設置し、観光情報の発信を行った。
観光に関する調査 (観光課)	- (-)	宮城県を訪れる観光客の人数、目的等を調査・分析し、その結果を踏まえて、宮城県への誘客を戦略的に実施する。	・県観光統計概要調査による観光客入込数や宿泊観光客数等の把握を行った。
自然公園保全対策事業 (自然保護課)	8,267 (1,120)	栗駒山麓における貴重な高山性植生群落の保護復元に向けた取組や金華山島において自然景観保全に向けた森林群落復元のための取組等を実施する。	・栗駒山における植生群落の保護復元対策のためのミネヤナギの育成を実施したほか、金華山島における植生回復のための防鹿柵の維持・保守を行った。
伊豆沼・内沼自然再生推進事業 (自然保護課)	16,954 (15,612)	ラムサール条約湿地である伊豆沼・内沼において、水質悪化、水鳥飛来種の減少、外来種による食害等が見られることから、沼の生物多様性の保全を図る。	・沈水植物の復元に向けた取組やハスの刈取り等を実施したほか、水質改善効果の検討調査を実施した。
伊豆沼・内沼よみがえれ在来生物プロジェクト (自然保護課)	8,000 (7,884)	伊豆沼で外来生物の駆除及び在来生物が生息・生育しやすい環境を創出・増殖させるモデルケースを実施して技術を確認し、同様の問題を抱える県内の湖沼へ技術を普及及び啓発させる取組を行う。	・オオクチバス等の外来生物の駆除に取り組んだほか、ゼニタナゴやクロモなどの在来生物の増加対策を実施した。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
みやぎラムサールトライアングル魅力発信事業 (自然保護課)	1,000 (601)	関係者の連携のもと、伊豆沼・内沼、蕪栗沼・周辺水田及び化女沼の3つのラムサール条約湿地を有機的に結び付け、湿地の賢明な利用について普及啓発を図るとともに、3湿地の魅力発信し、来訪者の誘致を目指す取組を行う。	・関係者による検討会を開催したほか、普及啓発のために「みやぎラムサールトライアングルマップ」及び「パネル」を作成した。また、大崎市と共催で「湿地の恵み体験会」を開催した。
県産ブランド品確立支援事業 (食産業振興課)	4,917 (3,287)	宮城県の観光のPRポイントである農林水産物から多数の県産ブランド品が創出されるよう、県産食材のブランド化戦略の構築や実需者とのマッチングなどにより県内事業者を支援する。	・県産食材を使用し、消費者等を対象とした首都圏の有名ホテル等での「食材王国みやぎフェア」を10回391日間開催し、料理人・バイヤー等を生産現場に招へいする「みやぎ食材出合いの旅」を8回実施した。 ・宮城県認証食品の認証及び普及により、県産食材の販路拡大やブランド化の取組に対して支援を行った。 新規・更新数17事業者74商品
食材王国みやぎ地産地消推進店登録推進事業 (食産業振興課)	182 (132)	年間を通して県産食材を使用した料理を提供する県内の飲食店及び宿泊施設を「地産地消推進店」に登録し、その店舗を観光客に情報発信を行う。	・地産地消推進店の取組みを広くPRすることにより、県産食材の認知度向上を図り、消費拡大につなげた。 ・登録店舗数426店舗(平成29年3月末現在)
農山漁村絆づくり事業 (農村振興課)	4,000 (3,058)	震災復興に取り組む農山漁村と将来の当該地域のサポーターとなりうる県内外の学生との絆づくりを支援する。	・3年目となるH28年度も前年同様、GT団体や教育機関等に事業PRを行い、農山漁業体験等の申請実績は12件(学校数14校)であった。
みやぎ農山漁村交流促進事業 (農村振興課)	15,000 (4,968)	農山漁業体験受入に取り組む地域グリーン・ツーリズム実践団体に宿泊体験や情報発信PR活動等に係る事業費を補助し、都市と農山漁村の交流促進を図る。	・事業初年目のH28年度は農山漁家民泊の推進を図るためのPR冊子を作成し、地域グリーン・ツーリズム実践団体等に配布。
グリーン・ツーリズム促進支援事業 (農村振興課)	4,246 (3,597)	グリーン・ツーリズム第3期行動計画を踏まえた県全体のグリーン・ツーリズム活動の底上げにより、都市農村交流人口の増加を図る(推進環境整備(相談窓口の充実)、実践者等育成事業、みやぎグリーン・ツーリズム推進協議会支援事業)。	・グリーン・ツーリズム専門アドバイザー派遣では、5団体が活用し課題解決を図った。実践者支援として、実践者スキルアップ研修会を実施した。みやぎGT推進協議会に対しては、ネットワーク大会等の実施への活動支援及び補助金交付により協議会では情報発信の充実を図った。
仙台空港地域連携・活性化事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	30,000 (21,730)	仙台空港民営化後の、地域にとって望ましい空港運営と周辺地域の活性化に向けて、地域と空港運営権者との連携体制を構築し、関係者が一体となって、空港振興策を展開することにより、空港機能の拡充と旅客・貨物需要の創出を図り、仙台空港を核とした地域経済の活性化を促進する。	・民放イベントにPRブースを出展し、仙台空港国際線の周知を図った。 ・若者を対象にパスポート取得費の一部を助成するキャンペーンを実施し、仙台空港国際線を利用した海外旅行の促進を図った。 ・タウン情報誌等のメディアを活用し、仙台空港や就航地の魅力を情報発信し、認知度向上を図った。

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
空港機能を活用した国外プロモーション活動等事業 (空港臨空地域課) 【再掲】	80,000 (69,907)	空港機能を活用し、北海道新幹線開業に合わせ、函館・仙台双方からの空港からの二次交通を活用した函館・東北広域観光の促進及び宮城が舞台となっているアニメコンテンツや宮城で楽しむスポーツを付加した新たな観光資源の魅力発信やモニターツアーを実施し、外国人観光客の誘致促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・函館・仙台空港からの二次交通案内動画の制作・公開した。 ・函館・仙台空港からの二次交通を活用した東北・函館周遊モニターツアーを実施し、台湾で函館・東北周遊観光の魅力発信イベントを開催した。 ・ゴルフモニターツアー及びアニメモニターツアーを実施した。 ・PRアニメーション動画制作による魅力を発信した。 ・台北アニメイベントでのPR実施やアニメ聖地巡礼イベントを開催した。
景観形成事業 (都市計画課)	2,539 (2,059)	市町村の美しい景観形成のための取組を支援する(アドバイザー派遣、セミナー開催等)。	<ul style="list-style-type: none"> ・景観アドバイザーの派遣等により、市町村の景観形成への取組を支援した。 ・市町村の景観計画策定を支援するため、計画策定の手法や事例紹介を行う「景観セミナー」を開催した。
屋外広告物規制事業 (都市計画課)	15,140 (13,386)	屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置及び屋外広告業に関する規制を実施するとともに、違法はり紙のボランティアによる除却活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物の監視を強化するため、監視員を設置し、違反広告物の是正指導、除却等を行った。 ・ボランティアによる違反広告物除去活動を支援し、まちの美観の維持を図った。
県立高校将来構想推進事業(観光科新設事業) (高校教育課)	- (-)	平成26年度に新設した松島高校観光科において、「日本三景松島」等の観光資源を学習素材に、コミュニケーション能力を高めるとともに、おもてなしの心を育み、「観光王国みやぎ」の実現に向けて観光産業や関連する産業に貢献できる人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・松島町内外の有識者を委員とする松島高等学校観光科サポート委員会を設置し、松島周辺地域や県内各地の事業所の協力を得て、観光客の案内や各種イベントのスタッフとして活動するなど松島町を中心に県内の観光資源を活用した学習活動を展開した。また、県内に訪れた修学旅行生を対象に松島観光ガイドを実施した。 ・観光科サポート委員会(2回委員18人) ・農業体験(田植え、稲刈り等2回160人) ・町、商工会、農協、漁協、観光協会等の主催行事への参加 ・全国高等学校観光教育研究大会、観高サミット、海の盆、産業祭り、みちのくYOSAKOI祭り、被災地観光調査・研究・発表、円通院ライトアップ、販売実習、ホテル実習、磯島牡蠣祭り(イベント数8、延べ550人) ・県外修学旅行生への松島観光ガイド、台湾修学旅行生への松島観光英語中国語ガイド(ガイド数6、延べ382人)
みやぎ蔵王三十六景推進事業 (大河原地方振興事務所)	1,519 (1,424)	食と観光のブランド化を目指し、みやぎ蔵王三十六景の認知度を向上させて仙南地域の地域振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・JR仙台駅における誘客キャラバン(来場者:約3千人) ・みやぎ蔵王三十六景地域の逸品の推奨品の増加(新規16品、計53品) ・みやぎ蔵王温泉郷の宿泊客を対象としたキャンペーン実施(応募者数:322人) ・みやぎ蔵王温泉郷パンフレット増刷(10,000部)、同ポスター新規作成(200部)、みやぎ蔵王三十六景ナビゲートマップ増刷(10,000部) ・訪日外国人旅行者受入セミナー開催(全3回、延べ出席者数103人)【再掲】 ・仙南産食材の利用促進に向けた実需者とのマッチング(マッチング数13件、うち取引成立5件)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
県際交流事業 (大河原地方振興事務所) 【再掲】	- (-)	山形県置賜総合支庁及び福島県県北地方振興局と観光パンフレットの相互配置や観光情報の交換を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等の相互配置を行った。 ・JR仙台駅における誘客キャラバンにおいて、福島県北5市町と合同で観光PRを行った。
古道散策・街歩き等に係る観光資源活用事業 (北部地方振興事務所)	200 (291)	松尾芭蕉が旅した「おくのほそ道」を観光資源として磨き上げ、誘客促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「おくのほそ道散策マップ」一関～栗原～岩出山～川渡を制作した。 ・おくのほそ道の一部をコースに含む「みやぎ大崎鳴子温泉郷ツーデーマーチ」の開催を支援した。
最上・雄勝・大崎連携交流事業 (北部地方振興事務所) 【再掲】	403 (441)	三圏域に関する観光情報の発信(ブログ運営による情報発信、企業社員研修誘致に向けた情報提供等)及び三圏域合同の観光PRイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・東北のへそ観光ブログ等による観光情報の発信を行った。 ・仙台圏での合同観光PRイベント「東北の「へそ」三県交流まつり」や道の駅等を活用した観光PRイベントを実施した。 ・企業社員研修誘致に向けた情報提供を行った。
仙山交流連携促進事業 (仙台地方振興事務所) 【再掲】	210 (164)	仙山圏(仙台地域・山形県村山地域)の交流を促進するため検討・協議を行うとともに、仙山交流味祭等において両地域の産業、物産のPRを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・仙山圏において、相互のパンフレット配架等を通じた情報発信を実施した。 ・仙山圏の「ヒト」「モノ」「情報」の交流の促進及び地産地消推進のため「仙山交流味祭」を春と秋に実施し、観光PRも行った。
観光客に魅力ある受入体制整備事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所) 【再掲】	652 (829)	観光客入込数の増加が期待される栗駒山周辺及び伊豆沼・内沼を中心に、観光客が再び訪れたいと感じる受入体制の整備を図る。また、関係機関等と連携しながら積極的に情報発信を行うとともに、イベントやモニターツアーを通じて誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・花山そば祭りの開催を支援した。 ・関係団体によるワーキングを開催した。 ・誘客のためのクーポンチラシを発行し、1,984名の利用があった。 ・各種イベント及び観光キャンペーンにおいて誘客PRを行った。 ・岩手県、秋田県と連携して作成した「栗駒山トレッキングMAP」を増刷した。(10,000部) ・「訪日外国人観光客受入セミナー」を開催した。(H29.2.24) ・関係機関と連携し、観光資源調査を行った。
栗駒山麓の誘客促進事業 (北部地方振興事務所栗原地域事務所) 【再掲】	2,100 (2,024)	岩手・宮城内陸地震及び東日本大震災の影響により落ち込んだ観光客数を回復するため、魅力ある栗原の食や地域資源を活かし、仙台都市圏で発行される情報誌とタイアップし、積極的に情報発信を行う。 また、モニターツアーを通じた誘客を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・河北ウイークリーせんだいに栗原の旬の見どころ、観光イベント、栗原の食材や料理、伝統のお菓子、それが食べられる店舗等を3回掲載し、仙台圏に栗原の魅力を発信した。 ・栗原の魅力を伝えるモニターツアーを実施した。(3回) ・「くりはらドライブマップ」を増刷した。(5,000部) ・秋田県、岩手県、関連地自体と連携し、「栗駒山麓周遊ガイド」を修正・増刷した。(5,000部)

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
岩手・宮城県際広域観光推進事業 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所, 東部 地方振興事務所登米地 域事務所, 気仙沼地方 振興事務所) 【再掲】	1,194 (1,148)	岩手県と宮城県の県際地域に おける広域観光の推進を図る(公 式サイトにおけるイベントカレ ンダーの掲載, 観光案内所におけ るパンフレット等の作成, 相互配 架)。	○岩手・宮城県際広域観光推進研究会公 式サイト「南いわて・北みやぎ観光サイ ト案内所」における情報発信を行った。 ・イベントカレンダーの掲載 ・観光資源施設情報及び体験メニュー 紹介 ・東日本大震災後の観光資源及び宿 泊施設の営業状況等調査結果掲載 ○観光案内所等において, 県際広域観光 パンフレット「南いわて・北みやぎ県際 回遊モデルコースガイド」等の配架を行 った。 ○各事務所のイベント等においてパンフ レットを相互配架した。 ○県際広域観光パンフレット「南いわて 北みやぎドライブマップ」を作成した。 (合計 50,000 部, 各事務所 10,000 部) ○「南いわて北みやぎ広域観光案内板」 の壁面修正を行った。
登米観光戦略実践事業 (東部地方振興事務所 登米地域事務所) 【再掲】	1,691 (1,632)	県観光キャンペーンへの対応 を通じたおもてなし意識の醸成, 情報発信, 県内外イベント等にお ける登米の観光及び特産品の PR を行う。	・観光施設関係者等を対象としたセミナ ーを開催した。 ・観光キャラバンを実施した。 ・登米エリアドライブマップを改訂増刷 した。 ・県内外イベントにおいて, 登米の観光 や特産品を PR した。
交流人口拡大・にぎわ い創出支援事業(東部 地方振興事務所)	600 (524)	平成29年7月から9月にか けて石巻圏域を中心に開催される 「Reborn-Art Festival2017」を 一過性のイベントにすることなく, 持続的なにぎわい創出と観光 振興に向けた契機とするため, 「(一社) Reborn-Art Festival」 などと連携し, 観光推進セミナー を開催した。	開催日:平成29年3月25日(土) 場 所:宮城県東長遣使節船ミュージ アム(サン・ファン館) セミナ ールーム 内 容:講演『大地の芸術祭における地 域のにぎわい創出と観光振興』 (講師:(特非)越後妻有里山共 同機構 原氏)及びパネルディス カッション 出席者:観光関係者, 観光協会, NPO 等地域づくり団体, 地域住民, 行政担当者等 約70名
観光と食の魅力発信支 援(東部地方振興事務 所) 【再掲】	584 (320)	石巻地域への交流人口の拡大 や食産業の販路拡大を促進する ため, 「食」に関する情報発信な ど, 多角的な支援を実施した。	○食材王国みやぎ「いしのみきフェア」 地元事業者の販路拡大を支援するた めの販売促進会を開催した。 開催日:平成28年10月28日(金)~11 月1日(火) 場 所:イオン石巻店 ○海の幸・山の幸うまいもの市~石巻圏 交流あったかいものまつり~ 石巻圏域の豊富な食や観光資源を広く 紹介・宣伝するイベントを開催した。 開催日:平成28年11月10日(木)~11 日(金) 場 所:勾当台公園市民広場 ○2017 石巻復興フード見本市 食関連パイヤー等へのリーフレット配 布等, 石巻圏域の豊富な食を PR した。 開催日:平成29年2月8日(水) 場 所:石巻魚市場

事業名 (担当課)	当初予算額 (決算見込額)	実施状況	
		事業概要	平成28年度実施状況
次代につなぐ登米観光 戦略実践事業 (東部地方振興事務所 登米地域事務所) 【再掲】	2,100 (2,085)	「次代につなぐ登米観光戦略 プラン」を推進するため、ワー キングチームの設置、フォト・ムー ビーコンテストやキックオフツ アー開催による情報発信、観光ボ ランティアガイド研修などを実 施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・次代につなぐ登米観光戦略ワーキング チームを開催した。 ・SNS を活用したフォト・ムービーコン テストを開催した。 ・「食と農」「子ども」「女性」「隣接地域 連携」の視点でキックオフツアーを開催 した。 ・観光ボランティアガイド研修を開催し た。
教育旅行誘致促進 (気仙沼地方振興事務 所) 【再掲】	747 (225)	北海道から気仙沼・本吉地域に 訪れる教育旅行受入数の拡大を 図るため、道内の中学校、旅行会 社等の教育旅行関係者を対象に、 当地域のPRを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・管内訪問実績校を中心とした163校(道 内中学校75校、全国小学校・高校88校) に対し、気仙沼・本吉圏域教育旅行ガイ ドブックを送付した。 ・札幌市内および函館市内で開催した教 育旅行説明会にて道内の中学校10校、 直接訪問にて函館市内の中学校2校、計 12校に対し、当地域の受け入れ体制等 のPRを行った。
事業数 38事業 (再掲含)		事業費計 (決算見込額・再掲含む) 542,742千円	

6 基本計画の実施状況の検証

・平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による壊滅的な被害と福島第一原子力発電所事故の影響を受けて、平成 23 年の観光客入込数は前年比約 3 割減の 4,316 万人まで落ち込んだ。震災以降、県では本県の観光に元気を取り戻すため、被災した宿泊施設等の集客施設の復旧支援を行うとともに、観光キャンペーンを実施するなど、国内外からの観光客の誘致に努めてきた。

・震災復興6年目となった平成28年度の施策展開は、観光施設の復旧支援の継続や正確な観光情報の発信、仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン2016の開催、特に伸び悩んでいる中部以西からの誘客を促進するためSky Journey仙台・宮城キャンペーンや「ポケモンGO」と連携したイベントを実施するなど官民一体となって推進したほか、東北観光推進機構や東北各県との広域連携などによるインバウンド（外国人旅行者の誘致）への対応強化、震災の経験を生かした観光復興の取組等を進め、多様な魅力を有するみやぎの観光の再生に取り組んだ。

・その結果、平成 28 年の「観光客入込数」は 6,084 万人で、前年比約 100%、18 万人の増加となり、震災前の平成 22 年(6,129 万人)と比較して 99%と、震災前の水準まで回復してきている。この外、平成 28 年の「訪日外国人数」が国全体では過去最高の 2,404 万人を記録した中、宮城の「外国人観光客宿泊者数」は 18.1 万人と震災前の水準以上となっており、今後、更なる増加が期待されるところだが、原発事故の風評被害や宿泊施設等の復旧の遅れなど、本県の観光を取り巻く環境は依然として厳しい状況である。

・しかしながら、平成 28 年度の仙台空港の乗降客数は約 316 万人となっており、特に、国内線では 294 万人で昨年度と同程度で、震災前の平成 22 年度の実績を上回っているほか、国際線は 22.5 万人となっており、昨年度から 6.5 万人増加（前年比 141%）した。また、平成 28 年の沿岸部の観光客入込数は 552 万人で平成 27 年の 533 万人から 19 万人増加するなど、インバウンドへの対応強化や観光施設等の再生・復旧や正確な観光情報の発信に取り組んできた成果は徐々に現れてきていると考えられる。

・以上のことから、平成 28 年度は、「地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現」及び「多様な魅力を持つみやぎの観光の再生」のための施策を的確に展開してきたものと判断する。